



市の人口 (12月末現在)
人口 483,840人 (+193)
男 234,939人 (+80)
女 248,901人 (+113)
世帯数 173,828 (+70)
住民基本台帳による。( )は前月比

## 水道、医療、清掃などで 兵庫県南部地震の 被災地を支援



一月十七日に起きた兵庫  
県南部地震は、神戸市を中心  
に大きな被害を与えました。  
市では、被災地への救  
援と復旧支援のための対策  
会議を緊急に開き、会議冒  
頭で長谷川市長は「新潟地  
震のときは神戸市などから  
もたいへんご支援をいた  
だいた。今回は市として  
できるかぎりのことをし  
ていきたい」と早急に支援  
することを決め、早速十八  
日には給水車二台を、十九日  
には現地の要望と支援体制  
を把握するための調査先遣  
隊と救護物資を被災地へ向  
かわせました。

その後、被災地からの支  
援要請や先遣隊の報告に基づ  
き、水道、医療、救急の支  
援など、分野で次の支援  
を行っています。

①応急救護班として市民病  
院の医師・看護婦、消防  
救助隊員など九人の派遣  
と医薬品の送付②水道施設  
と設備調査隊三人の派遣  
③災害応援救急隊として  
高規格救急車一台と救急  
隊員など四人の派遣④  
隊員など四人の派遣⑤  
隊として職員四人と公認  
業者八人の派遣

現在、神戸市や西宮市  
などでも支援活動を行  
っています。

※被災地への義援金は日  
本赤十字社で受付中。詳  
細は本紙二面に掲載



文化振興ビジョンの検討を重ねる懇話会

### 懇話会を開催

## 文化振興ビジョン策定進む

市の基本施策のひとつである「文化振興」その施策の方向を明ら  
かにしようと、市では「文化振興ビジョン」の策定を進めています。  
現在、幅広い視点に立った提言をいただくために、有識者からなる  
同ビジョン懇話会を開催しています。

七年度までの十一年間、市  
が文化振興を進める上での  
指針となるもの、同ビジョ  
ンを作成するにあたり、市  
では平成五年度には市政世  
帯調査を通じて広く市民の  
意向を把握するとともに、第  
音楽、美術、文学などの第

同懇話会は、原田新司き  
ん(新潟日報社専務)を座  
長に文化活動に携わって  
いる人や、国際交流やまちづ  
くりで活躍している人など  
十一人に構成されています。  
同懇話会では、今後、同  
話会について多くの活動者か  
ら話し合いを重ねてきまし  
た。

市ではさらに幅広い角度  
から提言をいただくため  
同ビジョン懇話会を昨年十  
二月に設置しました。

策定のための  
懇話会を開催  
三月末までに同ビジョンを  
策定する予定です。  
問い合わせ 文化振興課  
(市内線2155番へ)

### 鍋を楽しむ当り座は きょう5日まで

「にいがた冬、食の陣」  
の当日座はきょう5日まで  
です。古町通五七・本町  
通六、万代シティ、新潟  
の「食」を楽しむでもら  
う環日本海料理鍋(一杯二  
百円)や、特産品を集めた  
「本町鍋」、淡のおでん鍋、  
チヂメやホルシチ、きしめ  
ん入りの「柳都鴨鍋」、餅入  
りの「越の錦鍋」、特製豚汁

食の大産物市(ふるさと村  
会場を除く)などを行って  
います。  
環日本海料理鍋は、キム  
チやホルシチ、きしめ  
ん入りの「柳都鴨鍋」、餅入  
りの「越の錦鍋」、特製豚汁

### 下水道ポンプ場の 職員を募集

募集人員 九人  
募集資格 五十六歳から五  
十九歳までの男性(四月一  
日現在)

職務内容 機械操作、保守  
点検、清掃などで昼夜交替  
勤務制

二月二十一日に  
面接参考を実施  
申し込み 二月十三日(必  
着)までに市販の履歴書に  
写真を張り、余白に下水道  
ポンプ場職員希望と記入し  
人事課(学校町通一六〇  
二)へ(市内線2073番)

### 社会人として巣立つ人を激励 就職者のつどいへ どうぞ

二月七日まで「食の陣」  
の赤いほりのある各料理  
店では新潟の冬の味覚を生  
料亭・割烹などの取産品を  
集めた「食の道具と器展」  
を開催します。家族や友だ  
ちを誘い合せておでかけく  
ださい。  
問い合わせ 食市食産実行  
委員会(222-1666  
7)へ

市では三月に高校などを  
卒業し、就職する人たちの  
社会人への巣立ちを激励す  
るため、毎年「就職者のつ  
どい」を開催しています。  
今回はタレントの清水國  
明さんを講師に迎え、人生  
きいき生活者宣言! 人生  
こんな生き方もある」を  
テーマに話を伺います。  
清水さんはあのねのね  
の一員として人気を得て、  
現在はオートバイレースへ  
の参加、テレビなどの司会  
者として活躍する一方、家  
族とはアウトドアを楽しみ  
といった生活を送っていま  
す。これからかたの人生に  
参考にしてください。  
日時 二月二十八日午後一  
時半～四時  
会場 県民会館  
申し込み 勤労福祉課(市  
内線2535番へ)

### “ごみはいつたい 誰のもの?”の巻

かんきょう  
コラム  
(9)

走行している車の窓から  
たばこの吸殻が捨てられ  
た。あなたがそんな場面  
に出会ったのだろうか。こ  
うした行為が、一向に後を絶た  
ない。なぜだろうか。原因  
のひとつとして考えられ  
ているのが、ごみを捨てる人  
と、ごみを捨てられて迷惑  
している人の意識の差。  
ごみ問題を解消するため  
には「自分さえよければい  
いんだ」という考えこそ捨  
てて、迷惑する人の立場に  
なって行動することが大切  
です。何と云っても、その  
積み重ねが私たちのまちを  
住みやすくしていくのです  
から。

### 市役所・市教育委員会

☎228-1000 (代表)

体育施設管理センター...266-8111  
園芸センター...286-1034  
水道局...266-9311  
東保健所...243-5311  
石山地区保健センター...286-4450  
鳥屋野地区保健センター...285-2373  
北地区保健センター...259-7332  
西保健所...286-5171  
西地区保健センター...262-3405  
坂井輪地区保健センター...260-3255

☎228-2822

☎283-3030

### 急患診療

◎内科・小児科  
日曜・祝日 午前9時～午後11時半  
土曜 午後2時～11時半  
平日 午後7時～11時半  
市医師会急患診療センター  
白山通2-160-5  
※ほかの診療科も紹介

◎歯科  
日曜・祝日 午前10時～午後5時  
東徳科医師会  
休日歯科診療センター  
堀之内南3-8-13

☎228-2822

☎283-3030

保険証を忘れずに

ごみはいつたい  
誰のもの?の巻

ごみ問題を解消するためには「自分さえよければいいんだ」という考えこそ捨てて、迷惑する人の立場になって行動することが大切です。何と云っても、その積み重ねが私たちのまちを住みやすくしていくのですから。